



献上桃の郷。
桑折町
こおりまち

桑折町総合計画

概要版

献上桃の郷 こおり 未来躍動プラン

中期基本計画

総合計画 **2022年→2031年**
(令和4年度) (令和13年度)

中期基本計画 **2025年→2029年**
(令和7年度) (令和11年度)



福島県 桑折町

「みんなが幸せを感じできる元気なまち こおり」の実現を目指して



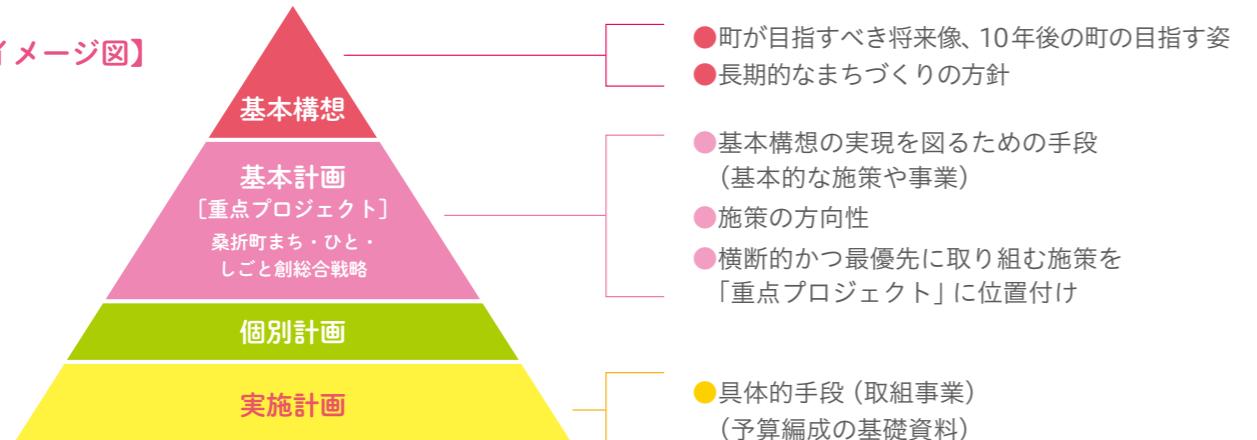
桑折町長 高橋宣博

〈総合計画とは〉

本町の目指すべき将来像を描き、それを実現していくための総合的かつ計画的なまちづくりの指針となる最上位計画です。

「町の将来像」を示す基本構想の実現に向け、行政分野ごとに「10年後の町が目指す姿」や、まちづくりの基本目標、基本目標の実現に向けた施策及び基本的取組事業などを「重点プロジェクト」「施策分野別基本計画」として掲げています。

【計画のイメージ図】



まちづくりの基本的な構想を示す「基本構想」については、中長期的（10年程度）な展望に立ちながら、令和4年度を初年度とし、令和13年度を目標年次とする10年間の計画とします。

本町のまちづくりに対する基本的な構想や施策の方向性を、町民をはじめ、町外に発信する役割を担います。

地域経済の発展や活力ある地域社会の形成、人口減少の克服を目指すために自治体が作成する「総合戦略」と統合・一体化し、効率的で効果的な計画の推進や進行管理の徹底、町民に向けた分かりやすい説明につなげています。



※基本計画は桑折町まち・ひと・しごと創生総合戦略を包含

本町では、令和3年9月に策定した総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」に基づき、6つの重点プロジェクトに連なる「桑折ならでは」の各種施策を着実に進めてまいりました。その結果、「献上桃の郷」として、住み心地の良さや住み続けたい町として、高い評価を得るところに至りましたことは、町民の皆様の町政に対する御理解と御協力の賜物と、心より御礼申し上げます。今般、令和6年度で前期計画の3年が終了することから、これまでの取り組みを評価・検証するとともに、本町を取り巻く環境の変化や課題に的確に対応すべく、令和7年度から5年間を計画期間とする中期基本計画を策定いたしました。

現在、私たちは、超少子高齢化による人口減少社会の到来や、激甚化・頻発化する自然災害の発生に加え、世界的規模で政治や社会経済情勢が刻々と変化する、不安定かつ不確実な局面にあるものと認識しております。さらには、デジタル化の進展や人

工能「AI」技術の発展などにより、産業や生活の有り様が大きく変貌を遂げていく、まさに激動の時代を迎えております。町といたしましては、町制施行70周年の記念すべき年にあたり、町民皆様と幾多の困難を乗り越えてきたこれまでの経験を踏まえ、あらゆる難局に真摯に向き合い、町民すべてのウェルビーイングを実現し、引き続き、持続可能な町づくりを進めてまいり所存であります。

そして、先人から受け継いだ気概を持ち、時代の潮流を見誤ることなく、常に変革を遂げながら「桑折ならでは」の魅力と特色を活かした各種施策を展開し、総合計画で謳う「みんなが幸せを感じできる 元気なまちこおり」を実現してまいります。結びに、未来を担う子どもたちに、夢と希望をつなぐ、「花咲く未来」に向かって、町政執行にあたってまいりますので、一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

温かみのある町民みんなが、自然や歴史、文化、産業、教育など、本町の特色ある恵まれた地域資源を最大限に生かしながら、元気や活力があふれる“輝かしい”未来に向かって魅力的なまちづくりを推進する姿を、「町の将来像」として次のように掲げます。



③暮らしと自然が調和した 豊かさを実感できる まちづくり

- 誇り・宝である恵まれた自然を守り、次世代へ引き継いでいくよう、森林環境を保全しながら、みんなが便利で快適に暮らせる豊かなまちをつくるため、都市緑化や歴史的な景観形成などに取り組みます。
- 地球環境保護のため、脱炭素社会実現を推進するとともに、再生可能エネルギーの導入推進を図ります。

④健康長寿で元気な まちづくり

- みんなが心身ともに健康で生き生きと暮らせるよう、健康づくりと医療の推進を図るとともに、生涯スポーツ事業と連携した体力向上と健康増進に取り組みます。
- 誰もが安心して生きがいをもつて暮らせるよう、地域福祉と障がい者福祉、高齢者福祉の推進とともに、生涯学習事業と連携し、社会参加の促進を図っていきます。

⑤子どもを大切にする まちづくり

- 「子育てするなら桑折町」と町内外から評価されるよう、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援に取り組む「桑折版ネウボラ」を推進し、子育て支援の充実を図ります。
- 待機児童ゼロの堅持や児童教育の質の向上、学力向上対策の推進やGIGAスクール構想などにより、乳幼児保育・教育や学校教育のさらなる充実を図るとともに、みんなで子育て・教育に携わり、人間としての基本を身につけ、目標に向かって高い志をもち、強みを発揮してたくましく未来を切り拓いていく「桑折子」を育成します。

⑥交流で絆を育む まちづくり

- みんなが互いに協力しながら、シティプロモーションを戦略的に推進し、町民の地域への愛着と誇り（桑折ブランド）の醸成を図るとともに、町の魅力や元気を積極的に発信し、町の知名度向上に取り組みます。
- コロナ禍を契機に急速に普及したリモートワークやオンラインなどによる交流、密を避けられる地方への関心の高まりを踏まえた観光交流や歴史まちづくりの推進に取り組み、交流の輪を広げ、本町への新たな人の流れを創出していきます。

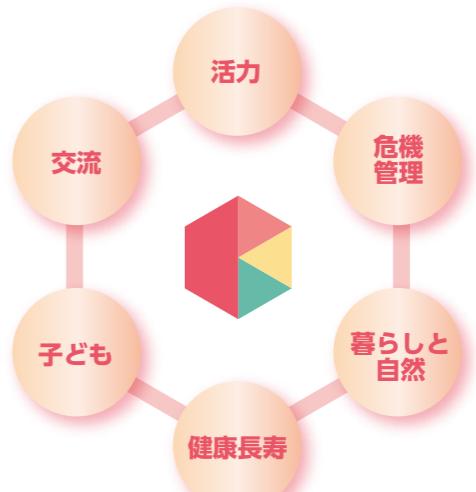
町の将来像（10年後に目指すべき町の姿）

「みんなが幸せを実感できる元気なまち こおり」

図の「桑折町ロゴマーク」は、町の宝である自然、歴史、文化などを「桑折ブランド」として確立するために作成しました。

町民の温かさや桃、半田山などをイメージした色や、人と人、過去・未来とのつながりをイメージし、雪の結晶の形でもある六角形でデザインされています。

六角形は、バランス・調和の象徴で、亀甲模様など、古来より長寿吉兆の象徴として縁起の良い形とされており、「6恵6幸」には、町民みんなの調和・安定や幸せ、過去と未来や人とのつながりという願いも込められています。



この計画は、6つの方針に基づき各種施策を展開し、将来像の実現を目指す計画であるため、サブタイトルとして「6恵(けい)6幸(こう)こおり未来プラン」と掲げています。

将来像実現のための6つの方針

①活力と賑わいに満ちた まちづくり

- 「献上桃の郷」の産地継承に向けた新規就農者後継者の育成支援、農業振興活動拠点施設「レガーレこおり」の活用、有害鳥獣対策等に取り組み、町農産物のブランド化などにより農家所得の向上を図ります。
- 伊達桑折インター、エンジ周辺の交通環境の充実をPRし、企業誘致による新たな雇用創出、商工会などと連携した魅力的な商業環境づくり、サテライトオフィスの整備などを行い、地域経済の活性化を図ります。



②危機管理に備えた 安全・安心のまちづくり

- 役場庁舎を拠点とした危機管理に備える体制の充実をはじめ、災害時に最前線に立つ消防団員の活動環境の整備、湛水防除対策の強化など、自然災害に備える体制強化、コロナ禍の経験を踏まえた防疫対策の強化に万全を期します。
- 自助・公助・共助の考え方のもと、町内会や住民自治協議会などとの連携を図り、消防・防災の強化や生活安全対策の推進に取り組みます。



施策体系図

「献上桃の郷こおり 未来躍動 プラン」(令和4年度～13年度)

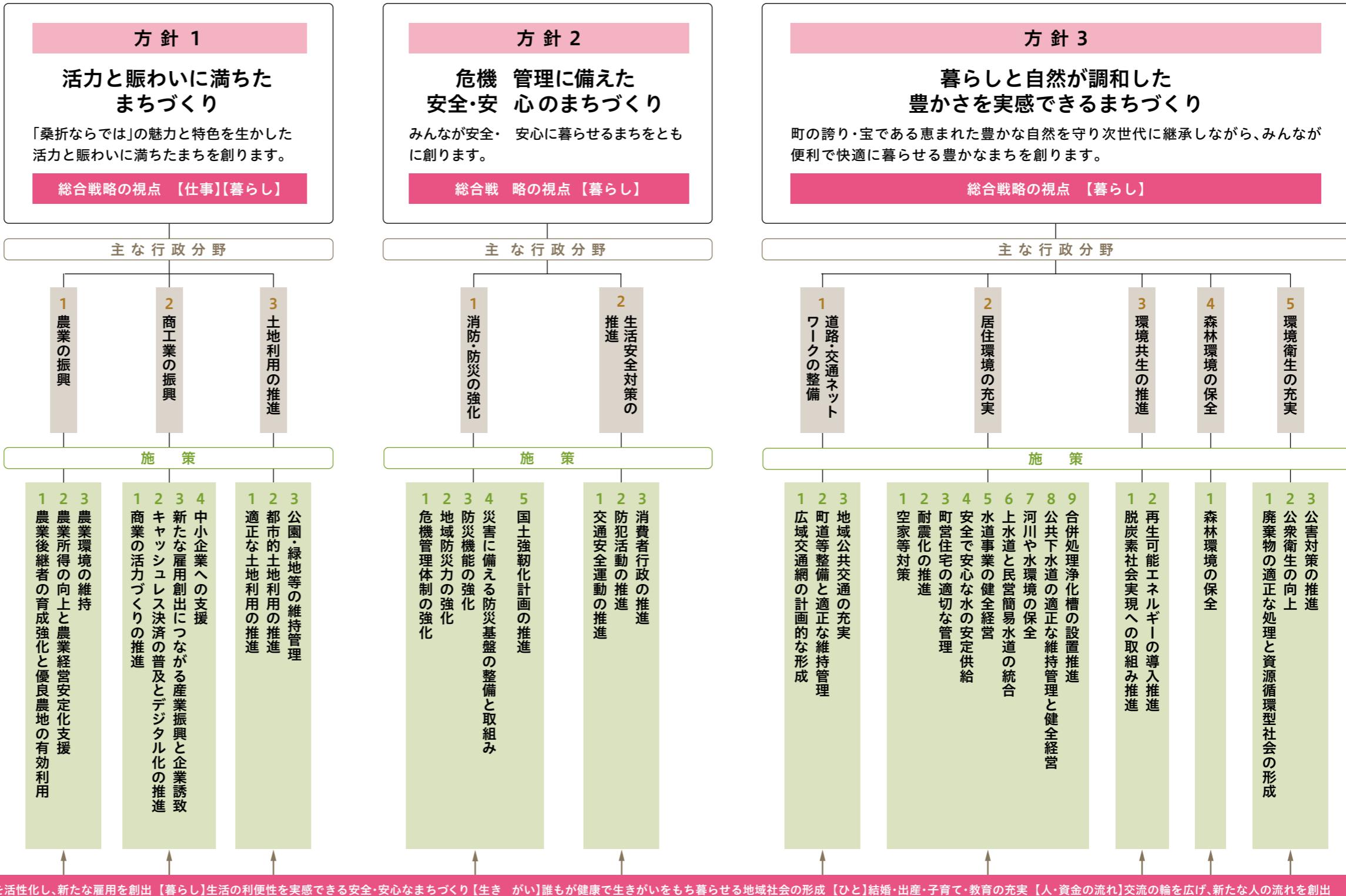
町の将来像

「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」～「住み続けたいまち 住みたいまち こおり」の実現～

6 恵6幸こおり 未来プラン

重点プロジェクト

- 1 「心地いいまち」推進プロジェクト
- 2 「桑折ならでは」の魅力と特色を生かした活力と賑わいに満ちたまちを創ります。
- 3 「桑折っ子」育成推進プロジェクト
- 4 「桑折で生き生きと暮らせるまち」推進プロジェクト
- 5 「環境に優しいまち」推進プロジェクト
- 6 「安全・安心のまち」推進プロジェクト



桑折町まち・ひと・しごと創生総合戦略の視点 【仕事】産業を活性化し、新たな雇用を創出 【暮らし】生活の利便性を実感できる安全・安心なまちづくり【生き・がい】誰もが健康で生きがいをもち暮らせる地域社会の形成【ひと】結婚・出産・子育て・教育の充実【人・資金の流れ】交流の輪を広げ、新たな人の流れを創出

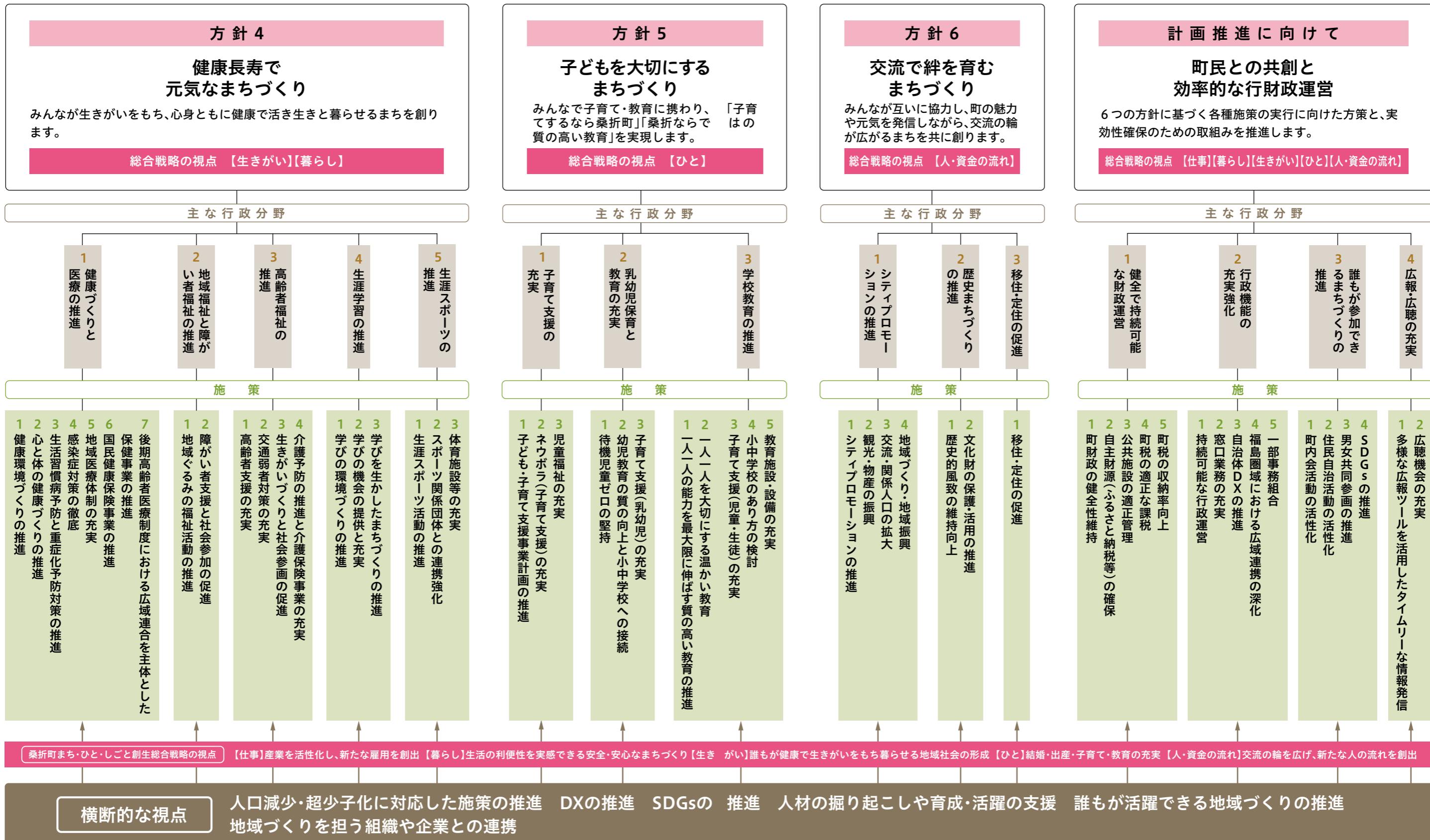
横断的な視点

人口減少・超少子化に対応した施策の推進 DXの推進 SDGsの推進 人材の掘り起こしや育成・活躍の支援 誰もが活躍できる地域づくりの推進
地域づくりを担う組織や企業との連携

「献上桃の郷こおり 未来躍動 プラン」(令和4年度～13年度)

町の将来像

「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」～「住み続けたいまち 住みたいまち こおり」の実現～



「21世紀の追分」 推進プロジェクト

6つの重点プロジェクト

「重点プロジェクト」については、町の将来像を見据えながら、「新しいまちづくり（新規性）」「桑折ならでは」といった個性あるまちづくりを創出するため、分野横断的に取り組む主要な施策を抽出し、総合計画全体を牽引し、長期的に取り組んでいきます。

**「健康で生き生きと暮らせるまち」
推進プロジェクト**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 3 体の健康と福祉
- 4 教育
- 8 経済成長
- 9 経済成長
- 11 経済成長
- 12 経済成長
- 15 経済成長
- 17 経済成長

● 町民の健康は持続可能な元気なまちづくりの原動力となるため、「こおり健康楽会」を中心に、町民一人一人がさまざまな分野において健康を意識した生活を送ることで、生涯にわたって心身ともに健康で元気に過ごせる「健康長寿のまち」を目指します。

【主な取組】

- こおり健康楽会事業（ヘルスアップDAY事業、ウォーキングチャレンジ事業、健康測定会、ウォーキングチャレンジ事業、健康測定会、ウォーキングチャレンジ事業、健康測定会など）
- 特定健康診査・特定保健指導・特定健康診査未受診者対策事業
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
- 町内医療機関との連携事業
- いきいき百歳体操の継続・発展
- 多様な学習機会の提供と充実
- 各種スポーツイベント、健康づくり講演会や成人講座などの開催

● 栄養バランスを考えた男性のための健康料理教室

桑折ジャンクションを現代版「追分」とし、地理的ポテンシャルを生かし、民間開発事業者との連携や企業誘致による土地利用の推進を図り、町内GDP額の増加や雇用創出、町民所得の向上につなげます。また、「献上桃の郷」の産地維持と元気な農業を推進し、農家所得の向上につなげることで、産業が盛んな「持続可能で元気なまちづくり」を目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 1 人間の資本
- 2 食と農業
- 8 経済成長
- 9 経済成長
- 11 経済成長
- 12 経済成長
- 15 経済成長
- 17 経済成長

【主な取組】

- 伊達桑折インターチェンジ周辺土地利用推進事業
- 都市再生整備計画事業の推進
- 伊達桑折インターチェンジ周辺の土地利用促進による企業誘致推進
- 「献上桃の郷」産地維持・継承事業
- 地域計画の推進
- 賑わい創出拠点づくり（イベント支援）事業

● さまざまな業種から注目が集まっている伊達桑折IC周辺と桑折工事団地

**「桑折っ子」育成
推進プロジェクト**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 1 人間の資本
- 2 食と農業
- 3 経済成長
- 4 教育
- 16 経済成長
- 17 経済成長

● 質の高い教育や生涯学習の実現に向けた仕組み・基盤づくりを進め、人間としての基本を身に付け、目標に向かって高い志をもち、強みを発揮して、たくましく未来を切り拓いていく「桑折っ子」を育成することで、将来のまちづくりを担う人材の確保を目指します。

【主な取組】

- 子ども・子育て支援事業計画の推進
- ネウボラ（子育て支援）の充実
- こども家庭センター事業
- 認定こども園との連携・支援
- 物的・人的・自然的を通しての遊びを中心とした総合的な指導の充実
- 一人一人の能力（学力・体力・心）を最大限に伸ばす質の高い教育の推進
- 一人一人を大切にする温かい教育
- 小中学校のあり方の検討

● 質の高い教育を推進し、将来のまちづくりを担う「桑折っ子」を育成

これまでの災害を教訓に、あらゆる災害に迅速かつ的確に対応し、町民の生命や財産を最優先に守るとともに、企業の経済・社会活動が停滞することのないよう、さまざまな視点から各種取組みをさらに推進し、町民に安らぎのある生活環境づくりを目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 3 経済成長
- 6 経済成長
- 11 経済成長
- 13 経済成長
- 15 経済成長
- 17 経済成長

【主な取組】

- 防災協定締結事業
- 備蓄品整備事業
- 防災DXの推進
- 防災所資機材整備事業
- 防災教育・地域防災訓練・防災研修の実施
- 國土強靭化地域計画の推進

● 町民の安全安心の要であり防災・減災の拠点となる役場庁舎

**「心地いいまち」
推進プロジェクト**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 6 経済成長
- 7 地域社会
- 11 経済成長
- 12 経済成長
- 13 経済成長
- 14 経済成長
- 15 経済成長
- 17 経済成長

● 時代の潮流を的確に見極め、町の特性を守り、育みながら、その魅力を町内外へ積極的に発信し、交流人口・関係人口の創出や移住・定住の促進を図ることで、多くの人に「住み続けたい・住みたい」と思ってもらえるような心地いいまちづくりを目指します。

【主な取組】

- 移住・定住PR促進事業
- 若者の住まいに関する支援事業
- シティプロモーション推進計画の推進
- 「献上桃の郷」商標・町ロゴマーク・町観光大使「ホタピー」を活用したPR
- インターネット媒体を活用した情報発信事業
- 拠点機能の充実
- 「（仮称）歴史観光交流センター」整備事業
- 歴史案内人の育成と体制の充実及び郷土学習の推進

● 開庁140周年を記念した「旧伊達郡役所・誕生祭」多彩なイベント（催し）を通じて交流人口拡大につなげる

半田山自然公園や産ヶ沢川のホタルなど、先人が大切に守りつないできた恵まれた自然を確実に次世代へ継承していくため、二酸化炭素排出量の削減や森林保全による吸収効果の強化・再生可能エネルギー導入に取り組む「環境に優しいまちづくり」を目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 6 経済成長
- 7 地域社会
- 11 経済成長
- 12 経済成長
- 13 経済成長
- 14 経済成長
- 15 経済成長
- 17 経済成長

【主な取組】

- 再生可能エネルギー導入推進計画の推進
- 指定管理者制度による半田山自然公園の管理・運営
- 一般廃棄物・プラスチックごみ減量化の推進
- 河川水質保全対策事業

● 恵まれた豊かな自然を次世代に継承するため、環境対策に取り組む

「安全・安心のまち」 推進プロジェクト

「環境に優しいまち」 推進プロジェクト

計画の推進に向けて

～町民との共創と効率的な行財政運営～

- ◆ 町が目指す将来像や持続可能なまちづくりに向けた各種施策は、SDGsの理念や目標達成に通じるものであり、また、SDGsの推進が総合計画の着実な推進につながるという表裏一体の関係性があるため、町の施策とSDGsの17のゴール（目標）との関連性を明確に示すことで、世界基準に照らした視点を意識し、SDGsを原動力とした地方創生を推進していきます。
 - ◆ 公共施設の管理運営について、指定管理者制度やアウトソーシングなどの民間活力の積極的な活用を図ります。また、施設の相互利用など近隣市町村との広域連携を推進しながら、限られた財源を有効に活用する健全で持続可能な財政運営に取り組んでいきます。
 - ◆ 行政課題が複雑化・高度化している中にあっても柔軟に事業を展開できるよう、職員育成を進めるとともに、組織機構改革を進めながら、各課の連携体制強化を図ります。
 - ◆ 役場庁舎の優れた機能の有効活用や、AIなど新たな技術を導入した「自治体DX」を推進し、効率的・効果的な事務執行を進めます。
 - ◆ 施策の推進に当たっては、「町民ファースト」はもとより、議会や各種団体、企業、大学、地域が連携し、新たなまちの魅力や地域の価値を共に創りあげていくことが重要であるため、時宜を捉えた広報広聴や町内会、住民自治協議会など自主的に活動する団体への支援を図ります。
 - ◆ 町民の生の声を聞き、施策に反映させるなど、町民参画の共創のまちづくりを推進し、「町民に寄り添い、町民に信頼され、町民とともに歩む役場づくり」に取り組みます。

~ For the Bright Future ~

輝かしい未来に向かって



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

桑折町は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

正969-1692

福島県伊達郡桑折町大字谷地字道下22番地7

電話 (024) 582-2111 (代表)

<https://www.town.koori.fukushima.jp>

編集／桑折町役場 総合政策課 政策推進係

